

オンライン
開催

2023年
5月8日・11日・16日

【お申込み期限】5月1日(月)

【お申込み期限】5月7日(日)

【お申込み期限】5月12日(金)

全日程とも内容は同じです。
ご都合の良い日程をお選びください。

13:30~15:00 (ログイン開始13:00~)

※オンラインミーティングツール「Zoom」を使用いたします。
Zoomご参加方法の詳細は「船井総研 Web参加」で検索

PC・スマホでセミナー参加 全日程オンライン開催

受講料 一般価格 税抜5,000円(税込5,500円)/1名様 会員価格 税抜4,000円(税込4,400円)/1名様

講座

セミナー内容

第1講座

これだけおさえない「融資と条件」の見直し

“コロナ融資”の返済が開始した企業も多い今だからこそ、改めて融資・返済を見直すための手法を、事例に基づき解説します。



株式会社船井総合研究所 住宅・不動産財務チーム 草深 大貴

大阪府出身。メガバンクに新卒で入社し、4年間勤務。法人営業担当として中堅・中小企業を相手に融資のみならず、総合金融グループの提案力を用いて課題解決に尽力。その後、2021年8月に船井総合研究所へ中途入社。的確な分析から導き出した結果に基づき、財務コンサルタントとして企業の成長を持続的にサポート、最適な財務構造の構築と資金調達支援に取り組む。

第2講座

金融機関を味方に変える融資ロジック大公開

融資審査の思考法を知ること、金融機関と争わずして好条件の融資を受けられるような内容をお伝えします。



株式会社船井総合研究所 戦略財務グループ マネージャー 石田 武裕

新潟大学経済学部卒業後、政府系金融機関にて12年半、融資営業・審査一体となった業務を経験。2017年10月船井総合研究所中途入社。財務コンサルティングにてキャッシュフロー改善、調達枠拡大等、支援実績多数。経営者の夢に寄り添いつつ、徹底した現場主義を貫き、経営者、従業員とともに汗を流して支援に取り組むことがモットー。

第3講座

明日からすぐに取り組んでほしいこと

セミナーで最も重要だった点をまとめ、明日からのアクションプランを提示します。

株式会社船井総合研究所 戦略財務グループ マネージャー 石田 武裕

中小企業のための

融資1本化



3つのポイントをおさえるだけ!

“脱”利益は出ているけど
なぜかお金が貯まらない企業

復活セミナー

新制度開始に伴って復活!!
2023年度にはコロナ融資借換制度がスタート!!

このような方におすすめ

コロナ市況発生により、制度融資を調達して借入の本数が増えた事業者
借入の本数が4本以上ある事業者
融資の見直しをすることで、返済負担を軽減したいと考えている事業者

お申込み方法 —Webからのお申込み—

右記のQRコードを読み取りいただきWebページのお申込みフォームよりお申込みくださいませ。
※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

セミナー情報をWebページからもご覧いただけます!

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/098089> 【TEL】0120-964-000(平日9:30~17:30)



主催



明日のグレートカンパニーを創る

Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル ※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNo.・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください。

2023年に新制度も!!中小企業のための融資1本化セミナー お問い合わせNo.S098089

船井総研セミナー事務局 E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

Webからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。)→ 098089

返済負担を減らしながら成長投資を続けるための 銀行対応の方法を大公開!

「融資1本化」の実現に向けた銀行対応方法をセミナーにて徹底解説!!



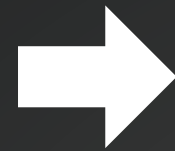
チェックポイントを網羅した対応が成功の鍵

Checkpoint 1



返済額の把握

- ・据置期間の確認
- ・保証協会、プロパー融資の区別
- ・担保、保証の確認

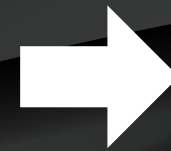


Checkpoint 2



**キャッシュ
フロー**の把握

- ・現在のキャッシュフローの金額
- ・今後のキャッシュフローの金額
- ・コロナ前後のキャッシュフローの違い



Checkpoint 3



銀行打診の方法

- ・企業規模にマッチしたメインバンクの選定と打診
- ・リスク扱いにさせない打診方法

ゼロゼロ融資がなくなった今、融資1本化を筆頭に具体的に検討すべき資金繰り改善手法はこちら

❶ 借入の1本化で返済額を圧縮

毎月返済がある借入が複数走っている場合、その借入残高を合計して新しく1本の借入を行い、既存の借入を一括返済することで、毎月の返済額を軽減できます。しかし、進め方を誤るといわゆる「リスケジュール」と認定されてしまい、新たな借入が難しくなるので慎重に進めなければなりません。

❷ 短期継続型融資の活用で、継続した企業成長を実現

運転資金については毎月返済のある長期借入ではなく、手形借入や当座貸越枠の活用により切り替えることで資金繰りの安定化を図れます。
継続した成長を実現している企業は、短期継続融資を上手く活用しています。

❸ 資本金性ローンの導入で、返済額を増やさず銀行評価UP

資本金性ローンとは、金融機関から「自己資金とみなされる」特性をもつ融資商品のことです。毎月返済がなく、期日一括返済のため、資金繰りを痛めません。また、金融機関からは資本とみなされないため、財務体質の改善が可能であり、金融機関からの借入も受けやすくなります。

❹ 借換制度を活用し、据置期間を再設定

ゼロゼロ融資は終了しましたが、実は2023年1月10日より「コロナ貸替保証制度」が創設されます。最大1億円まで、ゼロゼロ融資含めた保証協会付融資の置換が行え、据置期間を再設定可能であり、返済負担軽減ができます。

セミナーはWebからお申込みください。

右記のQRコードを読み取りいただき、お申込みフォームよりお申込みください。 <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/098089>

セミナー情報をWebページからもご覧いただけます!



セミナー
申込みは
コチラ▶

